

各実証フィールドの詳細について

以下にて、UX プロジェクトのプレイヤーが実証実験等で活用可能なフィールド等の内容をご紹介します。実証実験等を実施するにあたり、各実証フィールドの活用が可能です。

※実証実験等の内容によって提供できるフィールドおよび内容が異なる可能性があります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1. 医療法人桜十字

同社が保有するスポーツを中心とした実証フィールドの提供を受けることができます。連携のイメージとしては、プロバスケットチームに所属するトップアスリートへのモニタリング調査（侵襲やドーピングリスクなどの諸条件に該当しない範囲）や、試合会場・地域活動”WELLVO”を活用したマーケティング調査などが想定されます。

2. 株式会社再春館共創ラボトリー

同社及び再春館製薬所が保有する製造・研究設備に加え、社内外のネットワーク、ノウハウ、広大な敷地等を活用した実証試験の場などの提供を受けることが可能です。同社のビジネスモデルや顧客基盤を活用したテストマーケティングや実証の場と研究施設を活用した実証実験などの連携が想定されます。

3. 国立大学法人熊本大学

同大学が保有する試験設備や技術サポート（技術者）を受けることが可能です。これによって、特定の分析・試験などがボトルネックになっていた方、同大学の設備だけではなく、専門的な知見を備えた技術者による技術サポートを受けることができます。活用可能な設備や技術者の専門領域は[関連リンク](#)を参照ください。

4. 学校法人東海大学 産学連携センター アグリサイエンスオープンイノベーションセンター（ASO）

同大学の熊本キャンパスでは、研究開発の成果を社会や地域に還元・貢献するために「技術相談」窓口を設置しており、委託研究や研究員等の人的及び物的リソースの提供を受けることが可能です（[参考資料](#)）。

特に人的リソースについて、熊本キャンパスの立地環境や UX プロジェクト関連か

ら農学部を中心とした連携が想定されます。

【連携が想定される教員】

①農学科 阿部 淳 教授：博士（農学）

専門分野：作物学、栽培学

研究内容：水稲の有機栽培に関する研究、植物のバイオマス利用に関する研究など

関連リンク：[阿部 淳 | 教員・研究者ガイド | 東海大学 – Tokai University](#)

②農学科 佐伯 爽 講師：博士（農学）

専門分野：果樹園芸学

研究内容：高品質な果実生産方法の開発、気候変動に耐えうる果樹栽培方法の開発など

関連リンク：[佐伯 爽 | 教員・研究ガイド | 東海大学 – Tokai University](#)

③食生命科学科 永井 竜児 教授：博士（医学）

専門分野：食品機能学、生化学

研究内容：生活習慣病をはじめとする各種病態マーカー探索およびモノクローナル抗体を用いた簡易測定法の検討など

関連リンク：[永井 竜児 | 教員・研究ガイド | 東海大学 – Tokai University](#)

<https://www.u-tokai.ac.jp/news-campus/1276801/>

④動物学科 岡本 智伸 教授：博士（農学）

専門分野：草地生態学

研究内容：草地生態系の解明に関する研究、放牧を活用した動物生産に関する研究など

関連リンク：[岡本 智伸 | 教員・研究ガイド | 東海大学 – Tokai University](#)

5. 熊本国際空港株式会社

広大な敷地や空港ターミナルビル・そらよかエリア（ダイニング・パーク・ビジターセンター）などのハードを活用した実証実験の場の提供を受けることができます。インバウンド（訪日外国人）を含めた旅客に対する新たな空港利用体験の向上等に資する AI 技術等のトライアル機会の場の提供などの連携が想定されます。

6. 学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学

同大学のキャンパスでは、地域に貢献することを理念として、「[連携窓口](#)」を設置しており、大学が持つ教育・研究資源の提供を受けることが可能です。

7. 熊本県産業技術センター

熊本県産業技術センターは、地場企業の技術課題解決を支援する公的機関です。専門知識を持つスタッフによる技術相談や、高度な分析・測定が可能な各種設備の開放、依頼試験・分析を通じて、製品開発や評価を支援します。従来の支援メニューを軸に、皆様が取り組む社会実装に向けた新たな研究・開発や実証試験を、技術面から伴走支援いたします。

○熊本県産業技術センターのホームページ <https://www.kumamoto-iri.jp/>

※各種ご相談やご不明な点等は、「お問い合わせ」に設置された問い合わせフォームよりご連絡ください。

8. 株式会社あつまるホールディングス

同社およびあつまる山鹿シルクが保有する製造・研究環境に加え、多角的なネットワークや広大なフィールドを実証の場として提供します。同社の強固なビジネス基盤を活かしたテストマーケティングから、技術実証まで、フェーズに合わせた柔軟な連携が可能です。

9. 株式会社熊本日日新聞社

熊本県に根差した新聞社として、県内全域に広がる情報・発信ネットワークと、長年にわたり築いてきた県民・企業・自治体との信頼関係を生かし、実証実験の実施・周知・連携構築を支援します。

実証実験の内容に応じて、地域や社会課題の解決に向けた県民への情報発信や意識醸成（「モニター募集」「広報展開」）、スタートアップから地場企業・自治体、教育機関など、弊社の各種事業で繋がりを有する幅広い組織とのマッチングにも対応可能です。地域社会との接点づくりから成果発信まで伴走し、熊本における実証実験のフィールド形成や共創の推進に貢献します。

10. チャリチャリ株式会社

シェアサイクル「Charichari」の走行データ（利用開始・返却の位置情報・時間情報など OD データ等）の提供が可能です。交通や観光、マーケティングなど、データを活用したまちづくりでの連携が想定されます。なお、いずれも個人情報に十分配慮し、適切に加工した情報を提供いたします。利用目的をお伺いしたうえでのデータ提供となり、お伺いした内容によっては必ずしもご要望通りにデータを提供できない可能性があります。

11. 株式会社熊本銀行

提供可能なアセットについては、事業内容に応じて個別にご相談ください。(過去の提供アセット：従業員による新商品・サービスのモニター調査への協力)

アセットを活用して想定する連携イメージについては、当行は、熊本県を中心に地域経済を支える金融機関として、個人及び多様な業種の事業者との取引を通じ、地域に根差した金融サービスを提供しております。当行が保有する地域金融機関としてのネットワークや知見を活かし、ご相談頂いた企業に応じた実証フィールドを提供致します。

12. 株式会社肥後銀行

新商品・サービス（特に健康経営に資するものなど）のモニター調査を行うにあたり、同行の一部従業員に協力いただくことが可能です。

また、自社の技術やサービス等を、オープンイノベーションや新規事業開発などに関心を有する地元企業へ、同行を通じご案内することが可能です（ご期待に沿えない場合もございます）。地元企業とは実証実験の共同実施等を想定しております。

13. 九州産交バス株式会社

同社が日々運行する広大なバスネットワーク（路線バス・空港リムジン・高速バス）や営業所、乗務員の労働環境などを「動く実証フィールド」として提供を受けることができます。連携のイメージとしては、車内空間を活用した乗客向けの新サービス・新製品のテストマーケティングや、運行ルートを活用した地域インフラのデータ計測、乗務員のバイタルデータを活用したウェルネス実証などが想定されます。

14. 金剛株式会社（新）

九州最大級のオフィス・文化設備等の開発・生産設備を有する自社工場を実証フィールドとして提供可能です。

工場内の環境データの活用をはじめ、暑熱対策・人的負担の数値化など社内に潜在化している各課題のデータ収集・検証を行う連携を期待しています。

また社内 DX や働き方変革に向けた取り組みとして、間接部門に従事する従業員のサポート等による各種 IT システムを実業務に導入した際の効果測定など、オフィス環境における実証実験の場としてもご活用いただけます。(内容は個別にご相談)

15. 株式会社ニシケン（新）

当社は、建設機材および福祉用具のレンタルをコア事業として展開しています。建設と福祉の双方にわたる現場、顧客接点、運用知見を実証フィールドとして提供します。建設分野では当社が保有する建設機械を利用した安全管理や遠隔監視、デジタル技術等の実証の場を、福祉分野では見守りや転倒予測、福祉用具等の開発に向けたモニター環境や得意先紹介の提供が可能です。

私たちの役割は、単なる「実証実験の場所貸し」ではありません。長年培ってきた「顧客接点（モニター環境や得意先へのアプローチ）」と「運用の専門知見」をセットで提供し、実証後の改良に必要な「継続的なフィードバック」を行うことで、スタートアップや事業会社の皆様と長期的なパートナーシップを築きたいと考えています。